

はばたき

厚木市立睦合中学校学校だより
令和2年4月13日発行
NO. 318

令和二年度を迎えて

学校長 津田 敏行

今年度は新型コロナウイルスの関係で現在も臨時休業という前例のない対応をとっている中ではありますが、4月6日(月)には、規模を縮小して、形式を変更しての始業式と入学式を実施することができました。138名の新入生を迎えて令和二年度がスタートしました。

正門から昇降口に向かう本校の桜の木も1つ年輪を重ね、桜の花びらも増して、昨年よりまた一段と美しく咲いていました。そして今は、若葉が芽吹き、1年が始まったと改めて感じています。しかし、主役の生徒がいない学校とはこんなにも寂しく、活気がなく、我々教職員も生徒のために教育活動ができず、今は教材研究やすぐにでも生徒を迎え入れる準備を進めているところです。一日も早く終息を願うばかりです。

本来でしたら、今年度はオリンピックイヤーで国中が世界中が7月を待っている最中のはずが、このような状況になり、生活に規制がかかり生活の不便を余儀なくされています。その現実に対して冷静に対処していくことが求められています。このことに限らずですが、あるテレビ番組のセリフにあった言葉で新聞にも投稿された「いつもと変わらない一日は、特別な一日」という言葉が本当に身に沁みます。今までの当たり前を考え直して、今だからこそ苦難に負けない逞しさや臨機応変に対応できる力等を身につけられるようにしていくことも大切なかもしれません。

さて、いずれ学校再開となる日が来るわけですが、昨年の日本開催ラグビーワールドカップでヘッドコーチが考え、よく耳にしていた日本代表のスローガン「ONE TEAM」という言葉がありました。日本人の心に入るいい言葉で、一つにまとまって目標に向かっていきましょうという捉え方が多いかと思いますが、代表チームの柱でもあった堀江選手の話では、言葉を使えばワンチームになれるというわけではなく、どういうふうに関わり合えるかが大事で、中身をしっかりと考えてほしいというメッセージを送っていました。本校の学校教育目標は「未来を拓きともに支え歩む生徒の育成」です。今年度429名の生徒一人一人に個性があり、その個性を大切にしながら自分の強みを生かし、弱みは互いにカバーし合いながら、教職員は全生徒のよりよい成長のために力を尽くして「ONE TEAM」を創り上げていきたいと考えます。

保護者、地域の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動にご理解、ご協力をお願いいたします。学校運営協議会委員の皆様のご助言もいただきながら、学校への支援並びに地域への貢献等を推進して、更に進歩、向上した生徒の育成に努めてまいります。一年間よろしく申し上げます。

新入生を迎えて

1学年主任

新型コロナウイルスが心配される中、138名の新入生は、入学式を終え睦合中学校の生徒となりました。初めに担任の先生から入場の作法を学び、式場に入場しました。呼名の返事やしっかりとした礼など、落ちついた態度で臨むことができました。その後の学活も和やかな雰囲気にも包まれ、良いスタートを切ることができたように思います。小学校で学んだことを生かし、新鮮な気持ちで中学校生活を送ってほしいと思います。1学年の学年目標は『基本』です。入学したときの「初心」を大切に、学習、部活動、委員会などの中学校生活の基本をしっかり身に付け、思いやりのある温かい学年になりますよう、私たち職員一同、子どもたちの成長を全力で支援していきたいと思っております。ご家庭と学校、そして、地域の方々と共に温かく見守っていただけたらと思います。どうぞ三年間よろしく申し上げます。



令和2年度 睦合中学校職員

校長	津田 敏行
教頭	
教務主任	
生徒指導	
養護教諭	
事務主事	
栄養教諭	
非常勤(家庭)	
業務主任	
スクールカウンセラー	
学力ステップ アップ支援員	
特別支援介助員	

	1学年	2学年	3学年
学年主任			
1組担任			
2組担任			
3組担任			
4組担任			
副担任			
副担任			
ひまわり級			

元気アップアシスタント	
学校司書	

今年度、お迎えした先生方

教頭	厚木市教育委員会教育研究所より	教諭	厚木市立森の里中学校より
教諭	厚木市立南毛利中学校より	教諭	厚木市立荻野中学校より
教諭	新採用	教諭	厚木市立荻野中学校より
教諭	厚木市立小鮎中学校より	教諭	非常勤講師



離任者の紹介

教頭	厚木市立南毛利中学校へ
教諭	神奈川県立城山高等学校へ
教諭	厚木市立愛甲小学校へ
教諭	厚木市立相川中学校へ
教諭	厚木市立荻野中学校へ
教諭	厚木市立荻野中学校へ
教諭	厚木市立南毛利中学校へ
教諭	退職

「今だからこそできることを」

生徒指導支援担当

3月からの臨時休校が4月以降も延長となり、皆様の生活は大きく変わったことだと思います。残念なこと、生徒と直接顔を合わせることができたのは、始業式・入学式と登校日の2日間だけでした。通常の長期休業中であれば、学校周辺の道や店、公園等において生徒の姿を目にすることができそうですが、現状ではほとんど見かけることができず、生徒の様子も見えにくくなっているのが心配事です。

学校では定期的な連絡を実施し、生徒本人と話をすることで可能な限り様子をうかがうよう努めていますが、保護者の皆様、地域の皆様へのお願いとして、「当たり前であった日常」を失った子どもたちが、塞ぎ込んでしまったり、不安や焦燥感に駆られている等の異変が見られる場合には、学校へご連絡をお願いいたします。担任や学年職員をはじめ、スクールカウンセラーなど様々なスタッフが全職員一丸となって適切に対応していきたいと思っております。